

公益社団法人

立川青年会議所

の
ご案内



JCI クリード

The Creed of Junior Chamber International

We Believe;

That faith in God gives meaning and purpose to human life;

That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;

That economic justice can best be won by free men through free enterprise;

That government should be of laws rather than of men;

That earth's great treasure lies in human personality ;

And That service to humanity is the best work of life

【和訳】

我々はかく信じる；

信仰は人生に意義と目的を与え人類の同胞愛は国家の主権を超越し

正しい経済の発展は自由経済社会を通じて最もよく達成され

政治は人によって左右されず法によって運営さるべきものであり

人間の個性はこの世の至宝であり人類への奉仕が人生最善の仕事である

JCI ミッション

JCI Mission:

“To provide development opportunities that empower young people to create positive change.”

JCI ミッション

青年が、積極的な変革を創造し開拓するために

能動的な活動ができる機会を創造する。

JCI ビジョン

"To be the leading global network of young active citizens,"

JCI ビジョン

若き能動的市民のトップ・グローバル・ネットワークになること

JC 宣言文

日本の青年会議所は混沌という未知の可能性を切り拓き

個人の自立性と社会の公共性が生き生きと協和する確かな時代を築くために

率先して行動することを宣言する。

綱領

われわれ JAYCEE は社会的・国家的・国際的な責任を自覚し

志を同じうする者相集いを合わせ青年としての英知と勇気と情熱をもって

明るい豊かな社会を築き上げよう。

青年会議所とは

■ 日本青年会議所とは

1949年、明るい豊かな社会の実現を理想とし、責任感と情熱をもった青年有志による東京青年商工会議所（商工会議所法制定にともない青年会議所と改名）設立から、日本の青年会議所（JC）運動は始まりました。

共に向上し合い、社会に貢献しようという理念のもとに各地に次々と青年会議所が誕生。

1951年には全国的運営の総合調整機関として日本青年会議所（日本JC）が設けられました。

現在、日本全国に青年会議所があり、「修練」「奉仕」「友情」の三つの信条のもと、よりよい社会づくりをめざし、ボランティアや行政改革等の社会的課題に積極的に取り組んでいます。

さらには、国際青年会議所（JCI）のメンバーとして各国の青年会議所と連携し、世界を舞台として、さまざまな活動を展開しています。

■ 立川青年会議所とは

立川青年会議所は1965年（昭和40年）に全国で300番目、東京では2番目の青年会議所として設立され、現在では現役108名（2014年10月付）、OB450有余名を有し、立川・国立・武蔵村山の3市を活動エリアとして、まちづくり・ひとづくり運動を展開しております。

役員・組織・事業などは「組織の活性化と事業の斬新性」を保持するために、1年ごとに変わる『単年度制』の運営を行なっています。

また地域・日本・世界の諸問題を調査・研究し、解決に向けたセミナーそれぞれのメンバーは 政策委員会と地区委員会に配属され、事業内容ごとに活動を行います。諸問題の解決に向けたセミナーや例会を開催し、地域の問題から日本・世界の諸問題まで幅広く追究し、理想の社会と今ある現実のギャップを少しでも埋めるよう継続的に行動しています。

立川JCでは、運動指針や政策を掲げ、各年の理事長による年度指針とともに、地域に対して継続した運動展開を行っています。

■ 青年会議所の特性

青年会議所には、品格ある青年であれば、個人の意志によって入会できますが、20歳から40歳までという年齢制限を設けています。これは青年会議所が、青年の真摯な情熱を結集し社会貢献することを目的に組織された青年のための団体だからです。

会員は40歳を超えると現役を退かなくてはなりません。この年齢制限は青年会議所最大の特性であり、常に組織を若々しく保ち、果敢な行動力の源泉となっています。

各青年会議所の理事長をはじめ、すべての任期は1年に限られます。会員は1年ごとにさまざまな役職を経験することで、豊富な実践経験を積むことができ、自己修練の成果を個々の活動にフィードバックさせていくことができます。

青年会議所におけるさまざまな実践トレーニングを経験した活動分野は幅広く、OBも含め各界で社会に貢献しています。たとえば国会議員をはじめ、知事、市長、地方議員などの人材を輩出、日本のリーダーとして活躍中です。

■ 国際青年会議所（JCI: JUNIOR CHAMBER INTERNATIONAL）について

自由な社会と経済発展を実現し、新しい社会をリードするにふさわしい人材育成を目的として、1915年にアメリカ・ミズーリ州セントルイスに生まれた小さな青年活動グループから始まったJC運動は、その活動が認められ、アメリカの社会的活動を担う主要な青年団体へと発展していきました。

1944年には「積極的な変革を創り出すのに必要な指導者としての力量、社会的責任、友情を培う機会を若い人々に提供することにより、地球社会の進歩発展に資すること」を使命に、アメリカ、コスタリカ、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、メキシコ、ニカラグア、パナマの8カ国によって国際青年会議所（JCI）が発足。その後、年々加盟国は増え、日本も1951年に加盟、JCIの一員として新たな活動の一步を踏み出しました。

会員数16万人以上の世界で最も大きな青年団体です。現役メンバーに加え約250万人以上ものOBがいます。

毎年11月には世界会議が開催され、世界中のメンバーが一堂に会する重要な国際交流の場となっています。

JCI本部：アメリカ合衆国 ミズーリ州 セントルイス
加盟国家青年会議所（NOM）数：120 NOM
加盟国家数：133カ国
加盟NOMのLOM総数：4,752 LOM
加盟NOMのLOM正会員総数：166,012人
※NOM：NATIONAL ORGANIZATION MEMBER
※LOM：LOCAL ORGANIZATION MEMBER

2013年12月時点

団体概要



2015年度 スローガン

自他共栄

～新たな時代へ 勇気と情熱をもって～

理事長あいさつ

立川青年会議所(立川JC)は、立川・国立・武蔵村山市の3市に在勤在住の20歳から40歳までの世代が集い、行政や企業、各種団体との協力のもと、青少年育成や国際交流イベント、地域の魅力発信など様々な事業を通して、まちづくりや自分磨きに取り組んでいます。これらの活動は地元地域内に留まらず、国内696の地域、更には世界133に及ぶ国や地域とのネットワークから成り立っており、多くの価値観や文化、言葉の壁を越えた総勢約17万人の「仲間」と繋がっています。

節目となる立川JC創立50周年を迎えた昨年は、子供達を対象とした『わんぱく相撲 東京都大会 立川場所』を開催。また『キッズドリームチャレンジ ～子どもたちが創るダンスフェスティバル～』では、150名に及ぶ地元小学生にご参加いただき、多くの皆様方からご好評をいただきました。

そしてこれまでの半世紀に渡る歴史を踏まえ、新たな50年に向け歩み出す本年は、柔道の言葉である「自他共栄」をスローガンに、「互いに信頼し、助け合うことで、自分も世の中の人と共に栄える社会づくりを目指す」という精神を、我々が行う様々な事業の中で実践し、まちづくり・人づくりに役立てていきたいと考えています。

私たちが行う事業の全ては、専門家ではなく、職業も年齢も違う仲間の手作りによるものです。世界中のJCの共通理念である「明るい豊かな社会の実現」を目指し、次世代にも愛してもらえる地域をつくるために、我々世代の責任を果たすべく更に邁進して参ります。今後ともご指導・ご協力をお願い申し上げます。

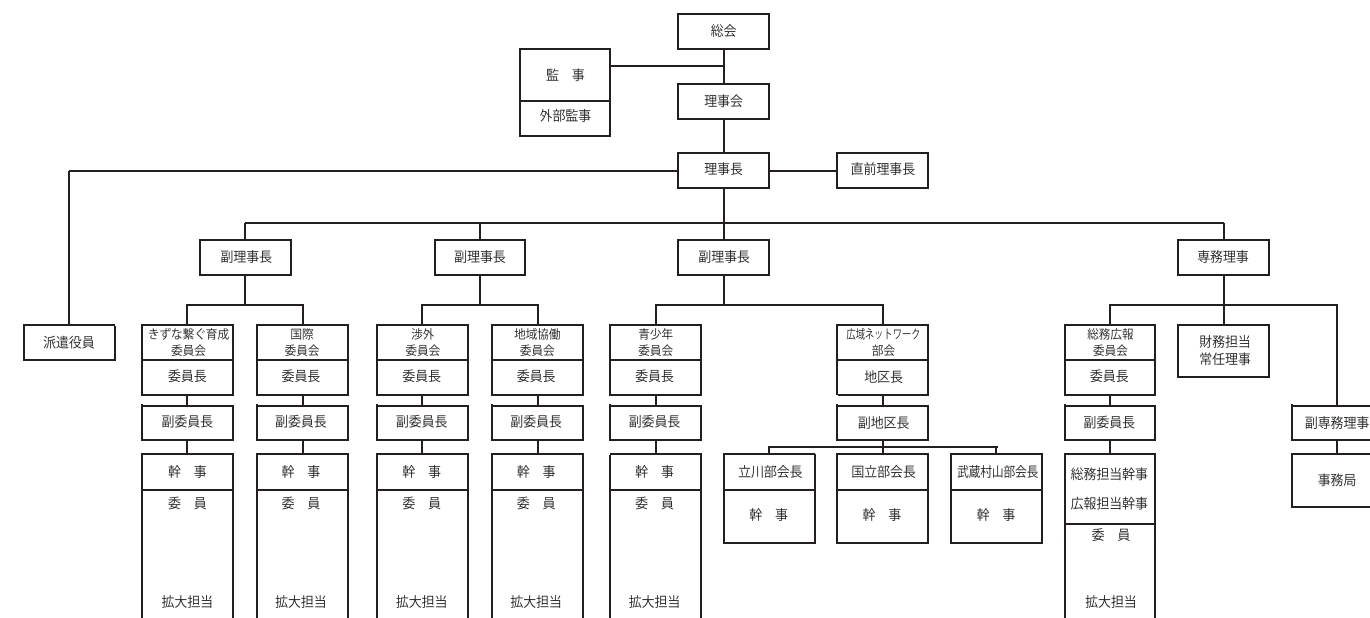
公益社団法人立川青年会議所 第51代理事長 伊藤 大輔

団体名：公益社団法人立川青年会議所
 創立年月：1965年7月
 社団法人設立年月：1972年5月
 公益社団法人設立年月：2013年1月
 本部所在地：〒190-0012 東京都立川市曙町 2-38-5
 立川ビジネスセンタービル 12F
 代表者：理事長 伊藤 大輔
 公益目的事業：(1) 産業経済事業
 (2) 文化・街づくり事業
 (3) 青少年育成事業
 (4) 国際化推進事業
 (5) 啓発事業
 2015年度重点事業：(1) 輝きと情熱に満ちた組織を構成するための魅力あるJayceeの育成
 (2) 50年に渡り培ってきた「繋がり」を活かし合える横断的な組織の構築
 (3) 世代を超え、受容する心と自分を愛する心の育成
 事業年度：1月1日～12月31日
 会員数：109名(2014年12月現在)

2015年度(第51代)理事長 プロフィール

氏 名 伊藤 大輔
 生年月日 1975年5月21日(39歳)
 勤 務 先 立川市議会
 青年会議所経歴
 2005年 入会 渉外国際委員会
 出向 東京ブロック協議会 アカデミー研修委員会
 2006年 青少年委員会 幹事
 2007年 教育政策立川委員会 副委員長
 2008年 第二国際アカデミー委員会 副委員長
 2009年 総務委員会 委員長
 2010年 渉外委員会 委員長
 2011年 副専務理事
 2012年 TJC政策策定特別委員会 委員長
 2013年 専務理事
 出向 東京ブロック協議会 二四LOM連絡会議 議員
 2014年 副理事長

2015年度 組織図



立川青年会議所の沿革

- 1965年 立川・昭島・国立・大和・村山の2市3町(当時)87名の有志により立川青年会議所設立
- 1967年 小学生に「黄色いランドセルカバー」を寄贈(立川JCから全国に発信)
- 1970年 アメリカ・サンバーナディノJCと姉妹締結
- 1971年 韓国・温陽JCと姉妹締結
- 1972年 社団法人認可
- 1980年 5000人の市民意識アンケート調査の実施
ちびっこサマースクールの開催
- 1984年 多摩メトロポリス祭の開催(現在の楽市)
- 1997年 キッズフェスティバルの開催
- 2003年 創立40周年記念フェスタの開催
- 2004年 「ゆめ基金」設立
花いっぱい運動
- 2005年 むさしむらやまグリーンフェスタの開催
- 2007年 ふれあいフェスタ2007の開催
シビックティーチャーバンクを設立
- 2008年 第21回国際アカデミーin立川の開催
- 2010年 2010年代運動指針を策定
- 2011年 RIDE and CHALLENGE2011の開催
- 2012年 こどもドリームフェスタ2012in武蔵村山の開催
- 2013年 公益社団法人格取得
Youth conference in 立川2013の開催
- 2014年 創立50周年記念式典の開催
キッズドリームチャレンジ(50周年記念事業)の開催
第26回わんぱく相撲東京都大会の開催



▲1965年設立総会



▲黄色いランドセルカバー



▲第21回国際アカデミーin立川

将来を担う こども達のために

青少年育成事業

地域を愛し、これから生き抜く力を備えた次世代の育成を目指しています

まちの魅力と課題を立川青年会議所が調査研究し、積極的に地域の教育機関と関わりを持ち、子ども達が「自分には何ができるのか」「自分の住むこのまちの将来」について考え、各市で行われたわんぱく相撲では「相手を思いやる心」「感謝の気持ち」を持ち行動できるような次世代育成事業を行いました。



▲わんぱく相撲立川場所



▲わんぱくキッズ相撲どすこい場所 (国立)



▲よいと祭り提灯事業 (立川)



▲さくらフェスティバル (国立)

大好きなこのまちのために

文化向上・まちづくり事業

地域のニーズを拾い、地域と連携し持続可能な解決策を提供する取り組みをしています

私たちが生活している地域を、より魅力あるまちにするには何が必要なのか。立川市・国立市・武蔵村山市が抱えるさまざまな課題を市民の方々と一緒に考え、一緒に原因を追究し、立川青年会議所がパイプ役となり行政や地域で活動している各諸団体、企業との連携を深め持続可能な解決策を講じています。「自分達のまちは自分達で創る」意識を高め、市民がまちづくりにもっと積極的に参画できるよう発言や意見を行政へ発信するチャンスを出し地域力の向上を目指しました。また、この地域を拠点に積極的に活動している若者を発掘し、我々がネットワークハブとしての機能を担い、地域へ若者たちの活躍の一端を発信いたしました。



▲活発な意見が交わされた市民討議会



▲若者発掘 PJの集い 新しいネットワークの構築



▲wellvoice たちかわ市民討議会

▼国際アカデミー in 半田 (愛知県)



▼立川・温陽青年会議所 公式会議



▼ユースカンファレンス



グローバル社会に向けて

国際化推進事業

グローバル社会で活躍していく人財に、国際の場を提供し続けています

世界に 17 万人以上の会員を擁している青年会議所のスケールメリットを生かし、世界 70 か国から集まったメンバーと寝食を共にする国際アカデミー等に参加し、世界中の人と交流を持ちました。また、立川青年会議所の姉妹 JC である韓国の温陽青年会議所を日本に招き交流の機会を創出いたしました。

そして、Youth Conference 2014 と題し、異文化交流を通じ子供達に日本の心を育んでもらい、国際社会で生き抜く強さと優しさを持った国際人の育成を図りました。



▲魅力発信ゲーム



▲組織の中で自分を活かす かがやく未来に向けて



▲PIP セミナー

自己の成長のために

人材育成事業

積極的な変革を生み出す前向きな姿勢と行動力をもった魅力ある人づくりを行っています

社会人としての意識向上と思考の変革をもたらすための学びの機会をつくり、地域のリーダーを担える人財の育成を図っています。ハンマー投げ金メダリストである室伏広治選手を育て上げた室伏重信氏に、青年期の日本人に何が必要なのかについて、元サッカー日本代表の福西崇史氏を招き組織の中でレギュラーを勝ち取るための自己の魅力発信について講演いただきました。

また、青年会議所が自己成長の場となるべく PIP(Personal Skill, Inter Personal Skill)等の各種セミナーや、ゲームを通して自己表現力を身につけられる研修プログラム等も行いました。



▲Positive Change 今あなたに必要なものは

「豊かな社会の実現」を目指して

その他事業

様々な事業を行いながら、まちづくりについて調査・研究し行動検証する事で地域に貢献しています

各市の事業や地域のイベントやお祭りに積極的に関わり市民・各諸団体との交流を図りました。立川市長、国立市長、武蔵村山市長を訪問し市政や各市が描いている将来ビジョン、そして青年へのメッセージをいただきました。

また、イベントやお祭りのほとんどが立川青年会議所でしか出来ない事を担いとしています。そして長年携わっている継続事業や地域事業も数多くあります。



▲新年賀詞交歓会



▲どんと焼き（国立）



▲京都會議



▲立川シティハーフマラソン



▲サマーコンファレンス 2014（横浜）



▲全国大会 in 松山



▲エフエムたちかわ 立川リレーション

各種同好会

立川 JC には、メンバー間や OB との交流を深めるためにゴルフや野球、スキーなどの同好会があります。立川青年会議所の有志による各種同好会もあり、立川シティハーフマラソンへの参加をいたしました。



▲球友会（ゴルフ）



▲エーデルスキークラブ



▲JC スーパースターズ



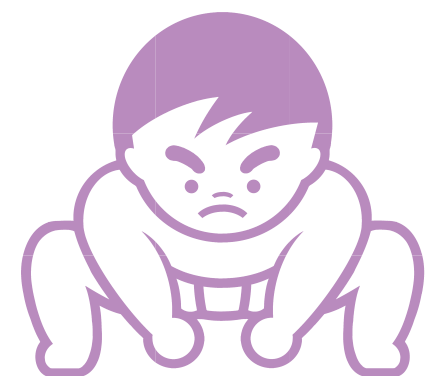
▲気迫溢れるわんぱく力士の取組



▲頑張ったわんぱく力士表彰式記念撮影



▲行政地域諸団体のご協力



▲全メンバーの力を終結し 行政地域諸団体との繋がりを構築しました

わんぱく相撲東京都大会

今年で運営 26 年目になるわんぱく相撲は、1977 年に社団法人東京青年会議所が 23 区全域に運動として展開したことに始まります。その後、全国各地の青年会議所を通じて普及発展し、現在では全国 204 の地域で約 45,000 人も小学生が参加しています。

わんぱく相撲は、遊び場の少ない東京の子ども達にスポーツの機会をより多く与え、地域との繋がりを大会テーマに掲げ、子ども達の心身の鍛練と、健康の増進、青少年健全育成を目的とし、子ども達には社会生活をする上で必要な「努力・礼儀・思いやり」など相撲を通じて学んでもらう事を目的としています。このような歴史あるわんぱく相撲ですが、2014 年度は東京都の代表選手を決める東京都大会を立川市内で主催し、大盛況となりました。参加した子ども達に「礼節を重んじる精神」「勝者を称え、敗者を思いやる」強い心と感謝の気持ちを育くめた事と思っています。



▲更なる繋がりを行政地域諸団体の皆様と

50周年記念式典



おかげさまで50周年

2014 年度は立川青年会議所の創立 50 周年の節目となり、半世紀に渡る事業を振り返り、今まで培ってきた全ての繋がりを再確認していただけるような記念式典事業を行いました。3 市市長をはじめとし、日頃よりお世話になっている地域諸団体の皆様をお招きして、感謝の気持ちをお伝えすると共に NEXT50 次世代に向けての決意を述べさせていただきました。

キッズ・ドリーム・チャレンジ (50周年記念事業)

50周年記念事業としてキッズドリームチャレンジと題し、小学生4～6年生を対象に子供達だけの手で創り上げるダンスフェスティバルの開催を目標に職業体験を行いました。この事業は3つの柱で構成されており Step を経る事により、地域一体での子供達の育成と、学校の枠を超えた出会いのもと子供達が地域企業と共同し普段なかなか体験できない「社会の仕組み」や「人の繋がり」、「支えあいの心」の大切さ、人の為に何かを成し遂げ感謝される喜びを体感することで、「自己肯定感」や「地域愛」を育んでもらう機会、さらには将来への夢を膨らませる機会創出を目的といたしました。

Step1 では、乙武洋匡氏を講演に招き大人が子ども達のために出来ることと題し、実体験を通じ得た「自己肯定感の大切さ」を地域の教育関係者や市民の方々に再確認していただきました。

Step2 では、ダンサーや大工、ファッションデザイナーなど12業種の職業体験を行い子供達の手で1つのフェスティバルを創り上げ、仕事とは何か？を身をもって理解してもらいました。また、ダンス発表会本番では、それぞれ学んだ職業を実践した子供達の成長を実感していただき、本番までの過程での変化を感じていただきました。

最後の Step3 では、発表会までの軌跡、保護者から見た子供の変化や感想を発表いたしました。フェスティバルの成功を目標に掲げ、職業体験を通して達成した事を振り返り、本年度の礎となりました。



▲職業体験 音響



▲職業体験 ホテルマン



▲職業体験 ファッションデザイナー



▲職業体験 アナウンサー



▲職業体験 カメラマン



▲職業体験 ダンサー



▲たくさんの思い出と友達が出来た キッズドリームチャレンジ大成功!!

JCの機会・入会メリット

仲間との絆・繋がり、そして自己成長から未来へ

立川JCで出会う仲間は、あなたの人生において大きな財産となります。

立川JCで培われたネットワークは、あなたのビジネスに大きな力となります。

立川JCで体験する様々なプログラムは、あなたの企画力や実行力を高めます。

立川JCで使用する組織運営システムは、あなたの会社の組織力を高めます。

立川JCで行うまちづくり、ひとづくりは、あなたの子供世代の未来をより良くします。



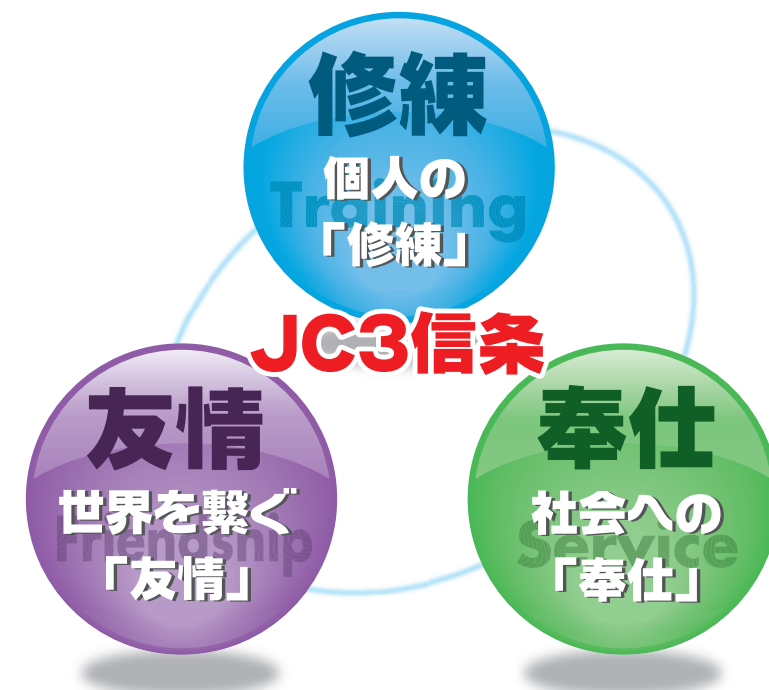
▲2016年度東京ブロック大会開催決定



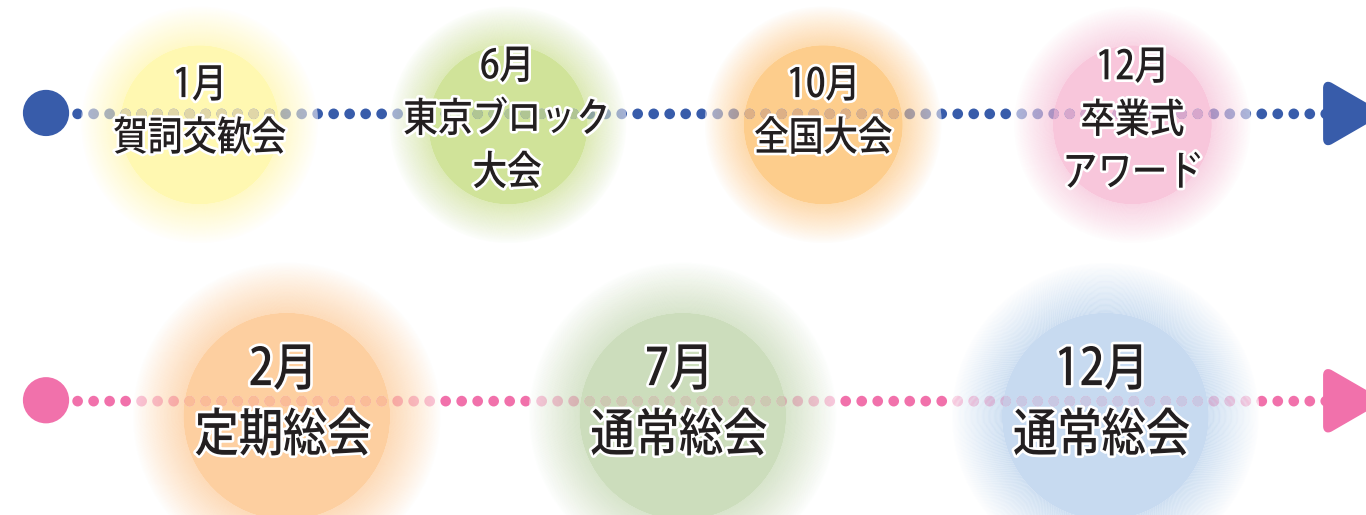
▲共に汗を流した仲間と50周年記念式典にて



▲子供達の未来を描いた よいと祭り提灯飾付



例会・事業・委員会活動について



定例会 … 1～2回／月 開催 (原則として水曜日の開催が主です)

委員会活動 … 1回以上／月 開催

まちのため、人のため、未来のために 私たちは頑張ります



司法書士・行政書士拓実リーガルオフィス
司法書士
代表司法書士 **松本 万紀**



あゆみ保育園
保育園
保育士 **江郷 勝哉**



(有)浜中石材店
石材関連
代表取締役 **浜中 俊一**



(有)栗原塗装工業
塗装関連
専務取締役 **栗原 卓**



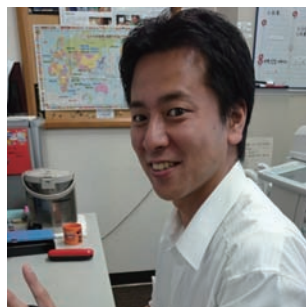
(有)紀の国屋
菓子製造業
専務取締役 **曽我部 吉弘**



(株)創コーポレーション
飲食業
代表取締役 **杉森 創**



(株)ユタカホーム
不動産業
課長 **小林 優貴**



(株)テイルウィンドシステム
IT関連
事業部長 **奥村 元樹**



(株)ゲートウェイスタジオ立川店
音楽スタジオ
店長 **吉澤 昌志**

入会までのフロー



青年会議所のQ&A

- Q** 仕事が忙しいのですが、続けることはできるのでしょうか？
- A** 私たち青年会議所のメンバーもみんな仕事で忙しい中、JC運動をしています。その中で時間の有効的な使い方を身につけています。
- Q** JC運動は女性でもできるのですか？
- A** JCの理念である「明るい豊かな社会」の実現は男性だけでできるものではありません。ぜひ、あなたの感性を生かしてください。全国で約2,500名の女性会員があり立川青年会議所では、7名の女性会員が活躍しております。
- Q** 年齢的にまだ若いと思うのですが入会することはできますか？
- A** 人と人のネットワークは、若ければ若いほど作りやすいし、また、JCの中でもそれだけ沢山のことを経験できます。立川青年会議所には20代の方も沢山います。
- Q** 経営者ではないのですが、入会することはできますか？
- A** 経営者だけを対象とする団体ではありません。まちづくりやひとづくりといったJC活動は経営者か否かは関係ありませんので、ぜひご参加ください。お待ちしております。
- Q** JC出身者にはどのような人がいますか？
- A** JCは各界のリーダーを育成しています。多くのOBが様々な分野で活動しています。



鳩山 由紀夫



麻生 太郎



小泉 純一郎



千玄室



ビル・ゲイツ



ジョン・F
ケネディ



コフィー・アナン

中曽根 康弘／市川團蔵／リチャード・ニクソン／チャールズ・リンドバーグ
他にも著名人たちが各界で活躍されています。

立川青年会議所歴代理事長

歴 代	氏 名	職 業
初代	(故)中村 正久	
第2代	(故)森下 博	
第3代	(故)片海 晶良	
第4代	(故)下野 一男	
第5代	(故)高田 勝敏	
第6代	岩崎 泉	(株)立川パーキング・センター 社長
第7代	萬田 貴久	多摩中央産業(株) 代表取締役
第8代	藤澤 弘志	
第9代	五十嵐 芳治	東京トニー(有) 代表取締役
第10代	中村 克久	(株)NRE中村亨 取締役会長
第11代	矢島 功	上石神井歯科
第12代	梅田 俊一	梅田醤油(株) 代表取締役
第13代	杉山 次男	岩崎不動産(株) 常務取締役
第14代	(故)山上 公隆	
第15代	小林 日文	株式会社無門 会長
第16代	岩崎 喜功	岩崎倉庫(株) 取締役会長
第17代	(故)尾崎 豊	
第18代	加藤 精一	(株)カトービルドシステム 代表取締役会長
第19代	浦野 勇	学校法人 浦野学園理事長
第20代	(故)中川 務	
第21代	鈴木 茂	アーキフリー(株) 代表取締役
第22代	中山 賢二	(株)なかやま不動産 専務取締役
第23代	井山 光一	gosengakufu(株) 会長
第24代	小林 和雄	三井企画(株) 代表取締役
第25代	岡部 直士	(株)ヤマヲ 代表取締役社長
第26代	須崎 八朗	立川市議会議員
第27代	荒生 信行	ランドスケープ 代表
第28代	岩崎 春伸	岩崎不動産(株) 代表取締役
第29代	坂村 英之	社会福祉法人 聖愛学舎 園長
第30代	加藤 積一	ふじようちえん 園長
第31代	渡辺 洋司	
第32代	草野 孝毅	かん・きょう(株) 取締役
第33代	大久保 清隆	(株)大久保組 代表取締役
第34代	岩下 光明	岩下商事(株) 代表取締役
第35代	桂 耕史	(株)カンテック 代表取締役
第36代	中山 賢一	(株)ライズデザイン 代表取締役
第37代	栗原 一	(株)朝雅 専務取締役
第38代	小松 剛	(有)ロイアルティボディ 代表取締役
第39代	木村 辰幸	社会保険労務士法人 木村事務所 代表社員 特定社会保険労務士
第40代	田中 太	(株)ムサシ田中企画 代表取締役
第41代	矢澤 俊一	(株)YAZAWA LUMBER 代表取締役社長
第42代	尾上 研児	(株)ティーオーデリバリー 代表取締役
第43代	渡辺 博昭	渡辺電業(株) 取締役社長
第44代	端 晶弘	(株)ハタ技術研究社 代表取締役社長
第45代	宮崎 昭人	(株)匠技建 代表取締役
第46代	金子 幹広	社会福祉法人 聖愛学舎 西国立保育園 副園長
第47代	松浦 孝治	松浦商事(株) 専務取締役
第48代	矢澤 貴光	矢澤電気(株) 代表取締役
第49代	迎 浩一朗	(株)テイルウィンドシステム 代表取締役
第50代	宇都木 健太	ブルデンシャル生命保険(株)
第51代	伊藤 大輔	立川市議会議員

私たちの運動にご賛同いただける オフィシャルスポンサー（賛助会員）を募集しております

- 賛助会員規定

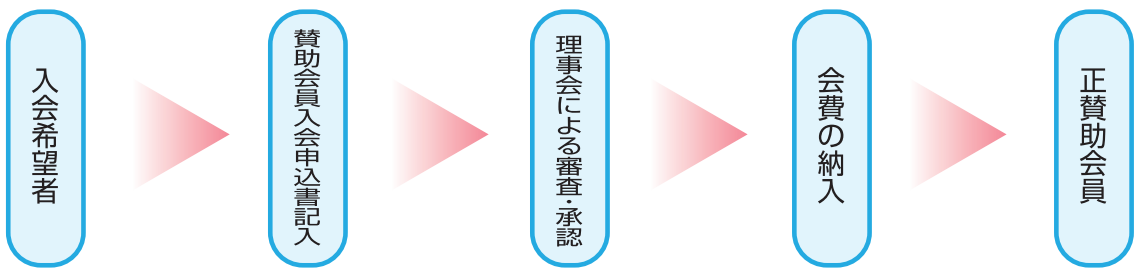
賛助会員は、本会の目的に賛同し、その発展を助成しようとする個人、法人又は団体。
- 在籍期間

賛助会員としての在籍期間は1事業年度とし、毎年所定の更新手続きを経て、継続することができる。
- 会費

法人又は団体
(1) 30,000円以上 1月～6月迄に入会が確定した方
(2) 15,000円以上 7月～12月迄に入会が確定した方
- 入会手続き

入会申し込みは随時とし、理事会での入会承認を受けた後、総会で定める会費を納入することにより、申し込み日をもって賛助会員となる。
- 賛助会員の権利

 - ・ 本会広報誌の配布を受ける権利
 - ・ 例会等の本会の催す各種事業の通知を受ける権利
 - ・ その他当該年度の理事長が適当と認めた事項
- 入会までの手続き



立川 JC オフィシャルスポンサー

 株式会社 立飛ホールディングス 立川市栄町6-1 立飛ビル3号館 TEL 042-536-1111	 多摩信用金庫 立川市曙町2-8-28 TEL 042-526-1111	真如苑 立川市栄崎町1-2-13 TEL 042-527-0111
有限会社 桜運転代行社 西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎564-1 TEL 042-568-0432	有限会社 東陽企画グループ 国立市富士見台2-15-7 TEL 042-580-2221	パレスホテル立川 立川市曙町2-40-15 TEL 042-5 27-1111
学校法人 地球のひろば藤幼稚園 立川市上砂町2-7-1 TEL 042-536-4413	立川グランドホテル 立川市曙町2-14-16 TEL 042-525-1121	小杉歯科医院 立川市曙町2-34-6小杉ビル4F TEL 042-526-6766
有限会社 新光社 昭島市東町3-13-15 TEL 042-545-0741	緑彩肴房 うのや 立川市高松町3-14-2 TEL 042-521-2468	立川ルーデンステニスクラブ 立川市泉町935-1 TEL 042-525-9677
アフタースクールプラスアップ 立川市曙町2-9-1-3F TEL 042-522-0301	ビジネスホテル純和／武蔵平成の間 武蔵村山市三ツ藤3-8-1 TEL 042-560-5858	株式会社 GOSHIKI 武蔵村山市三ツ藤1-31-4 TEL 050-5796-1607
立川ワシントンホテル 立川市栄崎町3-7-16 TEL 042-548-4111	鳥良 立川 2 号店 立川市曙町2-8-5シネマシティ13F TEL 050-5797-4416	フェイムコーポレーション 立川市上砂町2-33-7ストーク101号 TEL 070-6529-8839

私たちの活動を理解し、賛同していただけるオフィシャルスポンサー（賛助会員様）を募集しております！

お申し込み・お問い合わせは

公益社団法人 立川青年会議所
事務局〒190-0012 立川市曙町 2-38-5 立川ビジネスセンタービル 12 階

TEL : 042-527-1001 FAX : 042-527-6600
E-MAIL : info@tachikawajc.or.jp

私たちと共に運動してくれる仲間を募集しております。
詳しくは下記お問い合わせ先までご連絡ください。



【お問い合わせ】

- 公益社団法人立川青年会議所 事務局
TEL : 042-527-1001 FAX : 042-527-6600
E - mail : info@tachikawajc.or.jp
URL : <http://www.tachikawajc.or.jp>
- 入会・賛助会員担当 きずな繋ぐ育成委員会 委員長 岡部 栄一
TEL : 090-7907-3528
E - mail : eiichiokabe1110@gmail.com
- 広報・報道担当 総務広報委員会 委員長 北島 憲二
TEL : 090-2472-6259
E - mail : kitaken@masudaya-ltd.jp